



【グローバル社会を担うためのグループワークⅡ】

《目的》

グローバルな仕事に携わっている方々とのグループワークを通して、船舶産業などの日本の産業が、グローバル社会において大きな役割を果たしていることや、その重要性を実感する。

《実施内容》

- 日 時 平成29年7月10日(月) 11:00～
- 場 所 今治工業高等学校 大会議室
- 対 象 機械造船科2年生 40名
- 内 容 グループワーク
主題「世界における我が国の産業」



《講師》

- [船舶産業] 今治造船、新来島どつく、日本海事協会
- [機械産業] 潮冷熱、四国溶材

《グループワークでの助言の内容》

- ・自分の意見をしっかり伝えることは大事。そして、相手の意見をしっかり聞くことはとても大事。
- ・言葉の壁で重要な部分が伝わらないことがある。
- ・現地に早く慣れること、そして、相手のことや、その国のマナーを理解することが重要。
- ・自分からコミュニケーションを取っていくことが大切。



《各班の代表生徒による発表》

- ・仕事をスムーズに進めるためには、何が必要かを考えて動くことが大切だ、ということが分かりました。
- ・英語はとても大切だということや、伝わりにくいときは身振り手振り、絵や図で伝えることが分かりました。

《生徒が学んだこと・これから取り組みたいこと》

- ・文化の違いがある中、どう相手に伝えるとよいかを考えることが大切だということが分かりました。
- ・英語とコミュニケーション能力は、どこへ行っても大切だと思いました。
- ・外国の方と交流し、日本の文化との違いや船の造り方などを学びたい。
- ・若いときに、がむしゃらに頑張っていきたい。何でも挑戦していきたい。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

経験に基づいた話には説得力があり、生徒は造船関連業界が世界につながっていることを理解し、将来を見据え、真剣に取り組んでいたのがよかったと思う。

